



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月12日

上場会社名 三洋工業株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)山岸 文男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)松野 正文 TEL (03)3685—3451

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	23,992	△6.2	△321	—	△251	—	△78	—
19年3月期第3四半期	25,575	6.9	433	246.7	514	189.1	271	25.7
19年3月期	35,809	—	798	—	917	—	571	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△2	27	—	—
19年3月期第3四半期	7	81	—	—
19年3月期	16	41	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	28,584	13,028	44.7	366	82
19年3月期第3四半期	27,636	13,128	46.6	369	84
19年3月期	28,415	13,429	46.4	378	17

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	370	△88	△351	3,340
19年3月期第3四半期	503	△389	△352	3,519
19年3月期	751	△426	△672	3,411

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第3四半期末	
	円	銭
19年3月期第3四半期	—	—
20年3月期第3四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	37,300	4.2	400	△49.9	500	△45.5	550	△3.8	15	79

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報によって判断しておりますが、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますのでご承知おき下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期のがわが国経済は、堅調な輸出や設備投資に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。原油高による原材料価格の高騰や米国のサブプライム問題など、景気の先行きは予断を許さない状況となりました。

当社グループの関連する建築業界におきましては、改正建築基準法の影響による工事発注の遅れや公共投資の削減など依然として厳しい状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、本年度より新たにスタートした中期3ヵ年経営計画の目標である成長戦略による利益拡大策に取り組んでまいりました。収益拡大策としての「戸建住宅市場への拡販」は、新規ユーザーの獲得効果もあり売上高は前年同期比112%と伸長いたしました。しかし、売上構成比率の大きい「ビル内装市場への拡販」は、改正建築基準法にともなう建築確認の申請遅れによる影響でマンション着工件数が大幅に減少し、売上高は前年同期比98%と低調に推移いたしました。この結果、当第3四半期の売上高は前年同期比を大幅に下回る結果となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は28,584百万円となり、前連結会計年度末に比べて168百万円増加となりました。大型マンションの未完成物件が増加したことにより、流動資産と流動負債が増加となったほか、北海道地区の生産・物流用建物の完成などにより固定資産が増加となりました。また、純資産は13,028百万円となり、自己資本比率は44.7%となりました。

(連結キャッシュフローの状況)

当第3四半期は、売上債権は減少となったものの、たな卸資産が増加したことにより営業キャッシュフローは370百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュフローは設備の取得による支出等により88百万円の支出となり、財務活動によるキャッシュフローは借入金の返済と配当金の支払により351百万円の支出となりました。

この結果、当第3四半期における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて70百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成19年11月20日発表の数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計上基準及びその他一部につきましては、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

会計基準等の改正に伴う変更

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

これにより営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ25百万円増加しております。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増 減		(参 考) 前期末 平成19年3月期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
流動資産	20,741	75.1	21,309	74.6	568	2.7	21,581	76.0
現金及び預金	2,042		2,532		490		2,562	
受取手形及び売掛金	14,274		12,569		△ 1,705		15,260	
有価証券	1,767		807		△ 959		1,138	
たな卸資産	2,708		5,190		2,481		2,633	
その他	181		364		182		237	
貸倒引当金	△ 232		△ 153		78		△ 250	
固定資産	6,892	24.9	7,274	25.4	381	5.5	6,832	24.0
有形固定資産	5,126	18.5	5,817	20.3	691		5,092	17.9
無形固定資産	154	0.6	78	0.3	△ 76		149	0.5
投資その他の資産	1,611	5.8	1,378	4.8	△ 233		1,590	5.6
繰延資産	1	0.0	0	0.0	△ 1	△ 80.0	1	0.0
資産合計	27,636	100.0	28,584	100.0	948	3.4	28,415	100.0
(負債の部)								
流動負債	11,763	42.6	13,603	47.6	1,839	15.6	12,627	44.4
支払手形及び買掛金	9,491		9,711		220		9,937	
短期借入金	1,304		975		△ 329		1,020	
その他	968		2,916		1,948		1,669	
固定負債	2,743	9.9	1,952	6.8	△ 791	△ 28.8	2,358	8.3
社債	500		—		△ 500		200	
長期借入金	169		69		△ 100		138	
退職給付引当金	1,679		1,505		△ 174		1,644	
その他	393		377		△ 16		374	
負債合計	14,507	52.5	15,555	54.4	1,048	7.2	14,985	52.7
(純資産の部)								
株主資本	12,692	45.9	12,676	44.3	△ 15	△ 0.1	12,991	45.7
資本金	1,760		1,760		—		1,760	
資本剰余金	1,168		1,168		—		1,168	
利益剰余金	9,867		9,853		△ 14		10,167	
自己株式	△ 104		△ 105		△ 1		△ 104	
評価・換算差額等	190	0.7	99	0.4	△ 91	△ 47.9	181	0.7
その他有価証券評価差額金	190		99		△ 91		181	
少数株主持分	245	0.9	252	0.9	7	2.9	257	0.9
純資産合計	13,128	47.5	13,028	45.6	△ 99	△ 0.8	13,429	47.3
負債、純資産合計	27,636	100.0	28,584	100.0	948	3.4	28,415	100.0

(要約) 四半期連結損益計算書

科 目	科 目						(単位：百万円、%)	
	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減		(参 考) 前期 平成19年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
売上高	25,575	100.0	23,992	100.0	△ 1,583	△ 6.2	35,809	100.0
売上原価	19,567	76.5	18,780	78.3	△ 787	△ 4.0	27,469	76.7
売上総利益	6,007	23.5	5,211	21.7	△ 796	△ 13.3	8,339	23.3
販売費及び一般管理費	5,573	21.8	5,532	23.0	△ 40	△ 0.7	7,541	21.1
営業利益	433	1.7	△ 321	△ 1.3	△ 755	—	798	2.2
営業外収益	141	0.5	129	0.5	△ 11	△ 8.5	202	0.6
営業外費用	60	0.2	59	0.2	△ 1	△ 1.7	83	0.2
経常利益	514	2.0	△ 251	△ 1.0	△ 766	—	917	2.6
特別利益	107	0.4	140	0.6	32	30.4	94	0.2
特別損失	3	0.0	10	0.1	6	170.3	5	0.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益	618	2.4	△ 121	△ 0.5	△ 740	—	1,006	2.8
法人税、住民税及び事業税	333	1.3	56	0.2	△ 277	△ 83.2	485	1.4
法人税等調整額	16	0.0	△ 96	△ 0.4	△ 112	—	△ 58	△ 0.2
少数株主利益	△ 4	△ 0.0	△ 2	△ 0.0	1	31.9	7	0.0
四半期(当期)純利益	271	1.1	△ 78	△ 0.3	△ 350	—	571	1.6

販売及び生産の状況

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前 年 同期比	(参考)前期 平成19年3月期
金属下地材	15,272	14,417	△ 5.6	21,401
アルミ建材製品	5,718	5,310	△ 7.1	8,144
ネジ及び特殊釘類	1,070	958	△ 10.5	1,426
換気製品	933	853	△ 8.6	1,310
その他	2,580	2,452	△ 5.0	3,526
合計	25,575	23,992	△ 6.2	35,809

(2) 生産実績

(単位：百万円、%)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	前 年 同期比	(参考)前月 平成19年3月期
金属下地材	4,448	5,236	17.7	6,151
アルミ建材製品	1,190	1,286	8.0	1,718
ネジ及び特殊釘類	466	473	1.5	628
換気製品	308	281	△ 8.8	406
その他	228	223	△ 2.2	294
合計	6,642	7,501	12.9	9,198